

第2回 WEB 版タマテバコ

2022.7 月号

タマテバコ読者の皆さま！「WEB 版タマテバコ」発行者の高知県社会福祉協議会です。

いきがいネットトップページの「タマテバコバックナンバー」から、過去の掲載内容も閲覧できますのでご覧ください★
さて！今回は、高知県内でいきいきと元気に活躍されているシニアの2団体と障がい者就労継続支援をしている1事業所をご紹介します😊

土佐高岡シニアソフトテニスクラブ

土佐高岡シニアソフトテニスクラブは、約20名ほどで活動しており、男性が60歳以上、女性が45歳以上、定年で社会の一線を退職された方々などが中心メンバーとなっています。

土佐公園テニスコートで毎週火・金曜日の午後に練習を行っており、高齢者を対象とした県内外との交流大会も開催しています。

そんな土佐高岡シニアソフトテニスクラブの活動にお邪魔してきました！



テニスコートに入るとスコーンという気持ちの良いボールを打つ音が聞こえてきました。

シニア世代とは思えない素早い動きと力強いボールのラリー🎾

炎天下の中、終始いきいきとした笑顔でテニスをされていて、キラキラと輝いていました。



休憩中は、普段からの皆さんの仲の良さを感じました。

「ソフトテニス」という共通の趣味と様々な職種で働いていた人たちが集まることで、会話も豊富で知らないことを知れるしつながりができるとのこと😊

ソフトテニスをして、体を動かすことで気持ちが前向きになり、嫌なことがあっても忘れられる、続けることが健康の秘訣にもなっているそうです！

テニスをしているときだけではなく、他愛のない話をしたり、仲間がテニスをしているところを見たりしている「この空間が楽しい」という素敵な言葉を聞くことができました。素敵な仲間と囲まれ、元気にいきいきとスポーツしていることをひしひしと感じました。



と ぬくもり処

ぬくもり処は、日高村下分にぬくもり処という集会所をつくり令和4年4月から活動し始めた団体です。地域の今あるつながりを活かし、つながりをより深くするため活動しています。

そんなぬくもり処の事務局へ取材に行かせていただきました！

ぬくもり処のすぐ向かいには（福）ぷらうらんどという子供たちの発達支援などを行っている施設があり、ぬくもり処と連携して地域の人々や子供たちがいつでも関わり合える、子供たちを地域全体で育てていけるような環境づくりをしています★

地域の人々がよりつながっていけるように事務局でいろいろな仕掛けを考えており、話を聞くと七夕祭りや餅つき大会開催など、素敵なものばかりでした。また、事務局だけで全てを決める、担うのではなく、老人クラブ、民生児童委員、地区の自治会長や重鎮の方々、様々な地域の人を巻き込んでいます。

餅つき大会をすとなれば、地域のつながりを辿って声がけをし、臼や杵も集め、餅つきについてよく知っている方も探し、餅つき大会と一緒に参加します。そうして、つながりをつくり、より深いものにしていきます。



従来の集会所といえば、月に数回、会などで開館することが多いですが、ぬくもり処は毎日開いており地域の方や子供たちがいつでも立ち寄れる場所になっています。事務局の方々から、近所付き合いと一緒に「この人が一生懸命やりゆうき、私も手伝おう」というところから活動し始めたという話を伺い、近所付き合いが少なくなってきた現代でそういった関係性ができていることが素敵だと感じました！

話を聞けば聞くほど、奥が深く、地域にできている近所付き合いがその地域のつながりをより深くしていく、地域を残していくことを感じました😊



せるぽ（株） 障がい者就労継続支援 B 型事業所



せるぽ（株）障がい者就労継続支援 B 型事業所は、一般就労は不安、働きたいけれど今の状況では難しいといった方々がそれぞれの能力に合わせて働くことができ、支援計画をたて一人一人をサポートしております。

パソコンでのテープ起こしやデータ入力の仕事がメインになっていますが、布ぞうりや小物雑貨などの制作活動も行っています。制作活動での作品を高知県社会福祉協議会が運営しているふれあいショップにも出展してくれています。今回はその布ぞうりの制作について取材に行ってきました！



この布ぞうりですが、浴衣や T シャツ、トレーナーなども生地として使えるそうです。

生地を解体し、切る作業から始まり、ぞうりを編むためのひものような生地づくりを行います。

そのひもを編み込んでいき、ぞうりの土台をつくっていきます。編み込むときは力加減がとても重要で、力を入れないでやると足を支えるための土台が弱くなるそうです。反対に力を入れて布を引っ張ると、ぞうりの幅がせまくなってしまいうそうです。ぞうりの形を確認しながら力加減に気をつけて編むそうですが、うまく出来上がらないときがあり、全て 1 からやり直すこともあるそうです。思っていた以上に大変な作業だなと感じました



土台をつくった後、鼻緒を前つぼで土台に固定していきます。鼻緒をつけるときは、履いたときに簡単にのこないように前つぼを入れる場所を工夫してしっかり固定します。

1 足つくるのに 1 週間弱はかかるそうで、浴衣 1 着分で 2 足はできるそうです。

全ての工程をすぐにできるわけではないですが、1 つ 1 つの工程をちよつとずつできるようになることはとても楽しく、大変な分ぞうりが出来上がったときは達成感があるとのこと 😊

使い心地や色合いなど、使う人のことを考えながら、真心❤️込めて作られていることを感じました。

